

土木学会 平成28年度 全国大会 研究討論会

東日本大震災から5年を経た復興状況から今後の下水道の在り方を考える

[主題]

東日本大震災から5年を経て、仙台市では津波により壊滅的な被害を受けた下水処理場がようやく全面復旧の時を迎えた。我が国では今後も南海トラフ巨大地震等の発生が懸念されており、起こり得る震災への対応を考慮した取り組みが求められている。そこで本討論会では、被災した下水道インフラの復旧に取り組んでこられた方々に話題提供をしていただき、震災被害からの復興経験に学ぶことで東日本大震災の教訓を生かした今後の下水道の在り方を考え、環境工学分野がその特徴を生かしながらより実効的な貢献をしていくには何が必要かを討論する機会としたい。

|       |       |            |
|-------|-------|------------|
| 座 長   | 李 玉友  | 東北大学       |
| 話題提供者 | 渋谷 昭三 | 積水化学工業 (株) |
|       | 小川 浩  | 常葉大学       |
|       | 加藤 裕之 | 国土交通省      |

[日時・場所]

平成28年9月9日 (金) 13:00~15:00 東北大学 川内北キャンパス B棟B204

[プログラム]

- 13:00~13:05 環境工学委員長挨拶  
船水 尚行 (北海道大学)
- 13:05~13:35 東日本大震災とBuild Back Better  
渋谷 昭三 (積水化学工業 (株))
- 13:35~14:05 個別分散型生活排水処理システムとしての浄化槽の役割  
ー東日本大震災による被害状況から学ぶー  
小川 浩 (常葉大学)
- 14:05~14:35 東日本大震災からの復旧と下水道システムの地域振興への貢献  
加藤 裕之 (国土交通省)
- 14:35~15:00 総合討論